

令和 2（2020）年度スケトウダラ根室海峡の 管理基準値等に関する研究機関会議提案

国立研究開発法人水産研究・教育機構、並びに共同実施機関は、令和 2（2020）年度スケトウダラ根室海峡の管理基準値等に関する研究機関会議において、令和 2 年度資源評価に必要な科学的パラメータについて議論し、以下の点を提案する。

適用する管理規則

本資源では、資源量指標値から資源量水準の目標水準案や限界水準案等の設定が出来ないため、現時点では漁獲管理規則を提案しない。「令和 2（2020）年度 漁獲管理規則および ABC 算定のための基本指針(FRA-SA2020-ABCWG01-01)」の 2 系資源の解析方法を準用し、累積正規分布を適用して得られた指標値の平均水準および過去最低値を、資源管理方針に関する検討のため提案する。

平均水準および過去最低値

- ・平均水準は、資源量指標値の 50%水準で 3.20（トン/隻日）
- ・過去最低値は、資源量指標値の 21.1%水準で 0.82（トン/隻日）

その他

- ・跨がり資源であるため、漁獲管理規則を提案せず、ABC を算定しない。
- ・平均水準および過去最低値の算定に使用する資源量指標値のデータには、令和元（2019）年度の資源評価で使用された 1981～2018 年漁期の羅臼地区におけるすけとうだら専門の固定式刺し網漁船の CPUE（トン/隻日）を用いた。